

製品名: DMGDH ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87263**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:97 kDa; Observed MW:97 kDa

抗原情報

遺伝子名	DMGDH
別名	DMGDHD; ME2GLYDH
遺伝子ID	29958
SwissProt ID	Q9UI17
免疫原	ヒト DMGDH の合成ペプチド

背景

この遺伝子は、コリンの分解に関与する酵素をコードしており、ジメチルグリシンの酸化的脱メチル化を触媒してサルコシンを生成

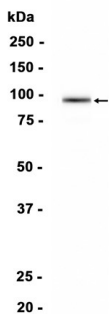
します。この酵素はミトコンドリアマトリックス中に単量体として存在し、フラビンアデニンジヌクレオチドと葉酸を補酵素として利用します。この遺伝子の変異は、魚のような体臭、慢性的な筋肉疲労、血清中の筋肉型クレアチンキナーゼの高値を特徴とするジメチルグリシン脱水素酵素欠損症を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年7月]

研究分野

-

画像データ

Human fetal liver



DMGDH ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。